



## コンタクトレンズはどうしてくもらないの

### めがねをかけないですむコンタクトレンズ

めがねのかわりに<sup>がんきゅう</sup>眼球にかぶせる、<sup>ちい</sup>小さくてうすいレンズが、コンタクトレンズです。めがねをかけるよりは、コンタクトレンズのほうが<sup>べんり</sup>便利な人<sup>ひと</sup>に多く<sup>おお</sup>利用<sup>りよう</sup>され、ハードレンズとソフトレンズの2種類<sup>しゅるい</sup>があります。

### コンタクトレンズは、<sup>なみだ</sup>涙<sup>りよう</sup>を利用してつける

コンタクトレンズは、<sup>なみだ</sup>涙の<sup>ひょうめんちょうりよく</sup>表面張力を利用して<sup>りよう</sup>眼球<sup>がんきゅう</sup>につけているので、<sup>がんきゅう</sup>眼球と<sup>とも</sup>共に<sup>うご</sup>動き<sup>にくがん</sup>肉眼とほとんど<sup>か</sup>変わらないで、<sup>そと</sup>外<sup>み</sup>を見ることが出来ます。

また、まばたきなどの目の動き<sup>め</sup>によって、<sup>うご</sup>レンズはくもることがありません。

ただ、コンタクトレンズはとても<sup>ちい</sup>小さいため、<sup>と</sup>取りあつかいが<sup>めんど</sup>うで、<sup>はじ</sup>初めて<sup>つか</sup>使うときは、<sup>れんしゅう</sup>なれるまで<sup>ひつよう</sup>練習する<sup>ひつよう</sup>必要があります。

また、<sup>あま</sup>誤った<sup>つか</sup>使い方をすると、<sup>かた</sup>目を傷つけたり、<sup>め</sup>レンズに<sup>きず</sup>細菌がついて、<sup>さいきん</sup>目の<sup>め</sup>病気<sup>びょうき</sup>になるおそれもあります。

コンタクトレンズは、<sup>ただ</sup>正しい<sup>えいせい</sup>衛生管理のもとで、<sup>ていきてき</sup>定期的に<sup>けんさ</sup>検査をしながら<sup>め</sup>目につけることが<sup>たいせつ</sup>大切です。（監修 保志 宏）

